

平成 16 年
7 月 20 日
発行

IUHW

The gazette of International University of Health and Welfare



発行：学校法人国際医療福祉大学
編集：広報委員会 ☎0287-24-3000
ホームページアドレス：http://www.iuhw.ac.jp

見学席より。

特集

2004.5.29 第九回運動会

- ◆2003年度 学生による授業評価結果
- ◆平成17年4月 薬学部を開設!
- ◆「人」第5回
「感覚運動的体験の(発達上の)意味」
国際医療福祉大学保健学部長・作業療法学科長 杉原素子
- ◆連載エッセイ「見・聞・録」第6回(最終回)
「“HEALTH FOR ALL”と
“ALL FOR HEALTH”」
大学院教授・国際部部长 長谷川豊
- オープンキャンパスのお知らせ
- 平成15年度 国際医療福祉大学国家試験合格率
- 平成15年度 国際医療福祉大学決算報告
- 平成16年度 奨学生決まる

Topics

聴講席：元気がでるパワーリハビリーイブニングタイム公開講座より／ボランティア委員会ー学内ボランティア活動報告／ハンセン病を考える会ー映画上映会・講演会・写真展／大学院修士2年の研究発表会ー福岡サテライトキャンパスよりー／第5回日本語聴覚学会開催／告知板：English Evenings (英会話公開講座) 開講, 言語聴覚センターミニセミナー開催

vol. **56**
July
2004

見学席より。

2004.5.29

本

学は、構内に重症心身障害児施設（なす療育園）、身体障害者療護施設（那須療護園）、痴呆対応型グループホーム（おおたわらマロニエホーム）など、さまざまな医療福祉施設を有する。これらの施設は、すべての人間の尊厳と権利を尊重する「共に生きる社会」を築くために役立っており、医療・福祉の人材を育成したいという建学の精神に基づき整備されたもので、学生の臨床教育の場ともなっている。

谷修一学長も、本年度の入学式の式辞の中で、「学生の皆さんにとっては、教育の現場の中に医療や福祉の現場があるということによって、障害者や病気の方と直接身近に触れ合い、将来の医療福祉職へのより明確な動機付けとなり、それと同時に『共に生きる社会』を身近なものに実感できると考えております」と述べている。

第九回運動会が開催されたこの日も、施設の職員や、ボランティアの学生の介助を受けながら、たくさんの構内施設利用者の方々が、若い学生たちの運動会を見学した。グラウンドを一望できる特等席で、施設利用者の方々には、「共に生きる時間」をどのように実感していただけただろうか。

★ ★ ★



「利用者さんも、建物の中ばかりではなく、やはり外に出たいとおっしゃるんですね。今日の運動会も楽しみにしてらっしゃって、『若い人が歩いているのを見るだけで元気が出る、若い学生たちと同じ道を同じように歩くだけで楽しい』っておっしゃるんです。今もここまで来るまでに、『私もまだ若いのよ』なんて話してくださって（笑）。若い学生さんが大勢いる大学と、こうした施設が一緒にあるということは本当に素晴らしいことだと思います。」

と、運動会見学のために、たくさんの利用者さんを引率して来た、おおたわらマロニエホームの介護職、吉成弘子さんは話す。

一方、頭に日除けのハンカチをのせて見学中の施設利用者の高齢の女性は、「私は、せがれも孫も小学校と中学の体育

の先生なんです。けども、こうして見ると、大学生ってのは、全然、トッチマリ（統率）が無いね。小学校でも中学校でも、先生がピーツと笛吹けば、ピシューと整列するのに、これじゃ何が何だかちつとも分からないじゃないですか。

でも、こうして外に出て若い人たちの姿を見るのは気持ちがいいですね。なんだか、若い人からエネルギーをもらえそうで、みんな（応援用の）お揃いの服を着て、脇を通り過ぎて行くでしょ。エネルギーッシュでいいですよ。

私も昔は小学校にも勤めたし、保育所にも主任保育で十年勤めたんです。だから、こういう運動会とかも責任持ってやりましたけど、楽しいものでしたよ。そんなことも思い出しますね。」

と話してくれた。五十年前の小学生と比べて「統率がない」と言われては、本学の学生も異論があるところだろうが、若い学生からエネルギーがもらえ、仕事をしていた頃を思い出す、という感想からは、学生と施設利用者が、共に生きる場を持つことの大きな意義が感じられた。

★ ★ ★

ところで、本学では、地元地域の方々にも運動会の案内状を送り見学者を募り、見学に来てくださった方には弁当が支給された。そうした地元の方の感想も聞いてみた。

「私は上奥沢っていう所で大学のすぐ下なんです。ここの学生さんが毎日常のすぐ裏を通るんですけど、みなさん真面目ですね。ちゃんと挨拶もしてくれますし。」

年齢好からして孫の運動会に来ているのと同じですよ。私は、運動会で学長さんと一緒に写真撮ってもらったことがあるんですが、それが自慢でね（笑）（女性）

「南金丸の自治会の方ですがご招待いただいたので見に来ました。せがれも、去年、ここの医療福祉学科を卒業したんです。大田原に大学ができたことで活気も出ましたし、道にも若い学生が歩いていて、明るく若々しい街に変身した感じがします。風土も考え方も違う全国の若者がこの地にいるというのが素晴らしいと思いますね。」

しかし、大学生というのは中・高校生とは違って、もっと各人バラバラかと思ったら、運動会にこんなに大勢の学生が参加して、意外と統率が取れているのに驚きました。（男性）

視点が変われば、統率が取れている」という感想もいただけた本学の運動会。見学席の感想もさまざまだが、構内施設利用者の方や地元にお住まいの方々には、若者と共に過ごす時間の楽しさを実感していただけたことは、確かなようだ。

【成績】

第一位	理学療法学科	八一五点
第二位	作業療法学科	五八〇点
第三位	医療経営管理学科	四三〇点
第四位	放射線・情報科学科	四一五点
第五位	看護学科	四〇〇点
第六位	医療福祉学科	三九五点
第七位	言語聴覚学科	三三〇点
第八位	視機能療法学科	二四五点

（取材・文…編集部、写真…加藤文哉）



学生による授業評価結果

本学では一九九九年度から、常勤の教員が担当する科目に対して「学生による授業評価」を組織的に実施している。二〇〇三年度以前の「学生による授業評価」は、そのねらいを科目担当教員個人への結果を報告することにより教員自身の今後の授業に生かすとしていたのを、二〇〇三年度の「学生による授業評価」から、各教員が授業を通して授業評価結果を学生にフィードバックする、各学科・センターにおいて各教員の結果を比較検討しお互いの授業に生かす、という位置づけを行った。の一環として二〇〇三年度に実施した「学生による授業評価」結果をここに報告する。なお、対象とする授業形態は、「講義」、「実習・演習・実験」の二種類があるが、ここでは紙面の制限上、「講義」についての結果のみ報告する。

「学生による授業評価」結果は各科目毎に集計され担当教員に配布されているがこの紙面では個別科目の結果ではなく、各学科・センターの担当する科目の平均された結果を示すこととする。なお毎年の授業評価の対象科目は、各常勤教員による二科目（前期・後期）の自己申告を通して選定・決定される。したがって各

常勤教員は、「学生による授業評価」の対象科目を毎年自分で選定しその科目の授業内容の改善に役立てているといえる。二〇〇三年度の授業評価における「講義」の対象科目数は合計一五三科目、対象学生数一万二八一人であった。その内訳は、看護学科二科目・一〇〇四人、理学療法学科三科目・一二三人、作業療法学科一科目・一〇一人、言語聴覚学科一五科目・一四一人、視機能療法学科六科目・二七九人、放射線・情報科学科二五科目・二五七人、医療経営管理学科二科目・一六〇五人、医療福祉学科一五科目・一三八一人、基礎医学研究センター一〇科目・一〇七四人、語学教育センター一六科目・六一五人、大学院七科目・五三一人であった。総合教育センターおよび国際交流センターについては対象科目が著しく少ないことからここでは除いた。因みに「実習・演習・実験」は二四科目（対象学生数一〇二九人）であった。

授業アンケートの内容（用紙）は図1に示した。結果については図2に示した加重平均に基づきグラフを作成し表示した。

（文責 保健学部長・杉原素子）

図2 加重平均

【ws】：（加重平均、weighted summation）

Q1～Q12: (1)*0+ (2)*0.25+ (3)*0.5+ (4)*0.75+ (5)*1
(1) 全くそう思わない
(2) そう思わない
(3) どちらとも言えない
(4) そう思う
(5) 全くそう思う

Q13: (いいえ)*0+ (該当なし)*0.5+ (はい)*1
Q14: (全く行っていないかった)*0+ (ある程度行っていた)*0.5+ (十分行っていた)*1
Q15: (いいえ)*0+ (はい)*1
Q16: (25%未満)*0.2+ (50%未満)*0.4+ (50-70%)*0.7+ (80%以上)*0.85+ (100%)*1

全体平均

図3 質問1-6の平均

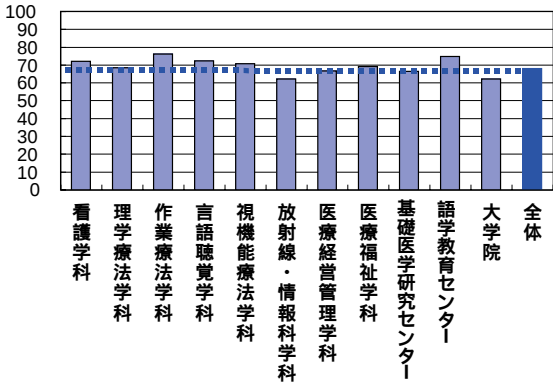


図4 質問7-12の平均

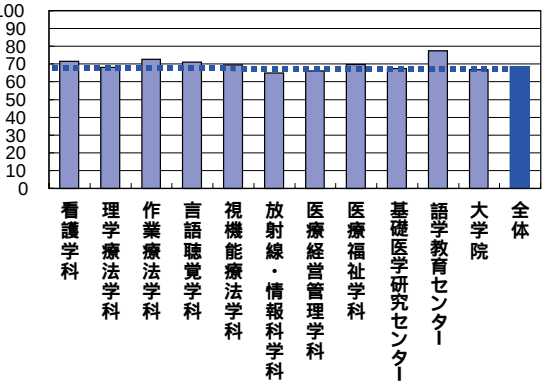


図5 質問13-16の平均

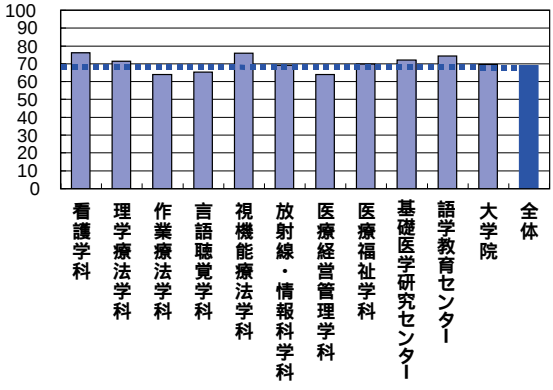


図6 問5 「将来必ず役に立つ授業内容であると思った」

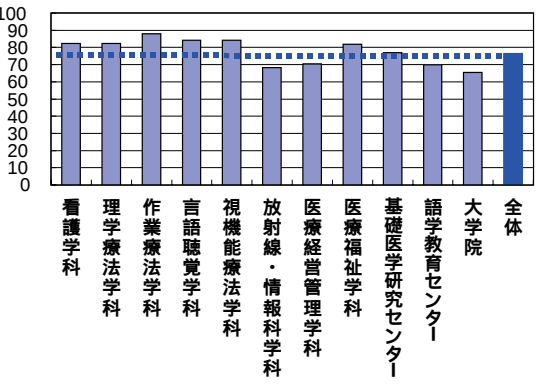


図7 問12 「学生が意見を述べたり、質問することを奨励していた」

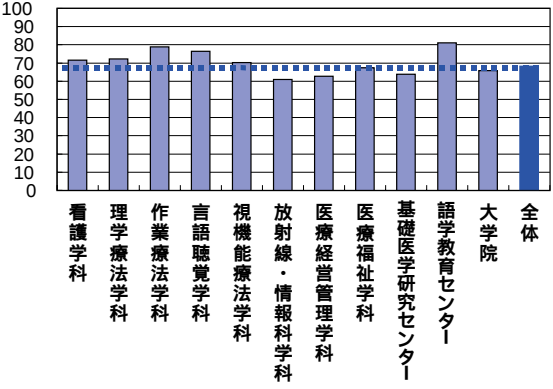


図8 問15 「授業中私語など他人に迷惑をかけなかった」

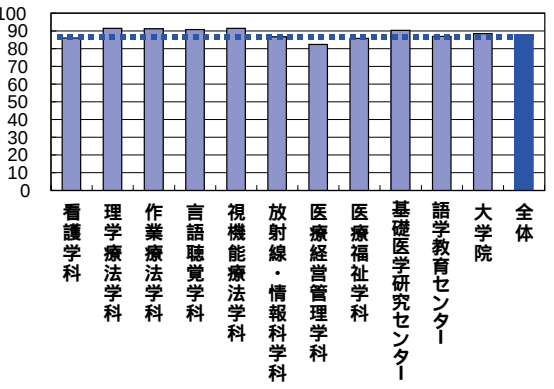


図1 授業アンケート用紙

平成 15 年度授業アンケート（講義用）

このアンケートは本学をより良い大学とするために、授業「授業について感じていること」「改善してほしいこと」など、学生からの意見を反映し、更なる教育の充実を目指し実施するものです。学生個人が回答した内容がどのように反映されるかは厳密に守られており、教員の業務で学業に支障をきたすことはありません。

科目名	00000000	00000000	教員名	00 000 000	
記入科目	年次	学 期	教室番号	学 期 番 号	
この授業についてあなたはどう思うかを、下記の項目ごとにマークをしてください。					
授業のあり方（内容・内容の伝達）について					
1	1	2	3	4	5
2	1	2	3	4	5
3	1	2	3	4	5
4	1	2	3	4	5
5	1	2	3	4	5
6	1	2	3	4	5
授業方法（手段・技術的な面）について					
7	1	2	3	4	5
8	1	2	3	4	5
9	1	2	3	4	5
10	1	2	3	4	5
11	1	2	3	4	5
12	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
13	1	2	3	4	5
14	1	2	3	4	5
15	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
16	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
17	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
18	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
19	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
20	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
21	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
22	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
23	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
24	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
25	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
26	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
27	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
28	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
29	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
30	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
31	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
32	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
33	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
34	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
35	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
36	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
37	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
38	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
39	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
40	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
41	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
42	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
43	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
44	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
45	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
46	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
47	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
48	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
49	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
50	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
51	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
52	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
53	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
54	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
55	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
56	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
57	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
58	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
59	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
60	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
61	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
62	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
63	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
64	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
65	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
66	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
67	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
68	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
69	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
70	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
71	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
72	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
73	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
74	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
75	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
76	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
77	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
78	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
79	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
80	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
81	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
82	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
83	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
84	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
85	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
86	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
87	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
88	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
89	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
90	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
91	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
92	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
93	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
94	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
95	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
96	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
97	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
98	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
99	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					
100	1	2	3	4	5
授業中私語など他人に迷惑をかけたかどうか					

図3 質問1～6の、学科・センターの平均

各学科・センターの質問1～6（授業のあり方・方針：内容的な面）の結果の平均であり、点線は全体の平均値を示す。

図4 質問7～12の、学科・センターの平均

各学科・センターの質問7～12（授業方法・手法：技術的な面）の結果の平均であり、点線は全体の平均値を示す。

図5 質問13～16の、学科・センターの平均

各学科・センターの質問13～16（この授業における学生自身のことについて）の結果の平均であり、点線は全体の平均値を示す。

図6 質問5「将来必ず役に立つ授業内容であると思った」

（質問項目別、学科・センターの平均）
点線は全体の平均値を示す。

図7 質問12「学生が意見を述べたり、質問することを奨励していた」

（質問項目別、学科・センターの平均）
点線は全体の平均値を示す。

図8 質問15「授業中私語など他人に迷惑をかけなかった」

（質問項目別、学科・センターの平均）
点線は全体の平均値を示す。

Date:May	5/26
ボランティア委員会 学内ボランティア活動報告	

去る五月二十六日のボランティア委員会において、学生ボランティア団体の代表者によるボランティア活動状況についての報告会が行われた。学内のボランティア団体、九団体が参加し、それぞれの団体から一年間の活動とこれからの課題が報告された。

学内最大規模のグループ「かざはな」では、五月末までに一八〇名を超えるボランティア活動登録者があつた。しかし実際に活動している者がまだ少なく、今後登録者を活動にどのように結びつけるか、また夏休み中、春休み中の活動の充実が課題となっていると報告した。

障害者施設でのボランティアや、地域の子育て支援のボランティアを行っている「あじさい」は、ボランティア先との情報のやりとり、グループ内でのボランティア情報提供が課題であると報告した。コミュニケーションをテーマに活動を展開する「スラオ」や、高齢者のミニデイサービスセンターで活動する「ほほえみ」は、レクリエーション活動がマンネリ化しているという課題をそれぞれ報告した。その他、車いすバスケットボールを推進する「LINK」は、練習場所、活動場所がないことへの課題、手話活動を推進する「メビウス」は、地域の中での活動場所を広げていきたいという課題、南金丸小学校の学習支援ボランティアのグループは、一、

二年生のメンバーをもっと増やしたいという課題をそれぞれ述べた。

この他、学内のボランティア団体の支援を目的に活動する「ボランティアネットワーク」、コミュニケーション研究部「AAC」などが参加し、それぞれの活動の現状と課題を報告した。

これらの報告を受けて、ボランティア委員から、それぞれの団体の課題に関してアドバイスが述べられた。

今回の報告会では、各ボランティア団体のそれぞれの努力と苦勞を垣間見ることができた。今後、それぞれの課題を克服し、活動をよりよいものとして、本学のボランティア活動の広がりを、さらに促進していつて欲しい。

（医療福祉学科助手 大石剛史）

Date:June	6/5
医療経営管理学科主催 「ハンセン病を考える会」開催	

入梅直前の快晴の土曜日、六月五日に大田原キャンパスにおいて、ハンセン病を考える会を開催した。この会は、ハンセン病をめぐる差別と人権侵害の問題について理解を深めてもらおうと医療経営管理学科が主催したもので、実際の運営は本学科の三、四年生の有志たちが担当した。土曜日の午後だったが初夏の陽気も幸いしたのか、たくさんの方が訪れ盛況な催しとなった。約三八〇名の参加者のうち、二三〇名が本学科の学生、一五〇名が一般の方だった。

当日は、ドキュメンタリー映画「風の舞」の上映会と、ハンセン病療養所多磨全生園の自治会副会長で、ご自身も元患者である佐川修氏の講演会が行われた。会場前のロビーでは、フリーカメラマン八重樫信之氏による写真展「それぞれのカミングアウト」が開かれた。また、この会のために作家城麗子氏よりハンセン病小説「縦の木」を四〇〇部寄贈していただき、当日の参加者全員にプレゼントした。

大変感動したといった感想をたくさんいただいたが、ゲストや一般の方からは、ハンセン病というテーマに取り組んだ本学の学生に対しても、真面目であるとか生き生きとした雰囲気があるとか、お褒めの言葉をいただいた。この会を成功させた学生の皆さん、お疲れさまでした。支えていただいた事務局の皆様、ありがとうございました。

（医療経営管理学科講師 加藤尚子）



主催した医療経営管理学科の有志

Date:June	6/5・6
大学院修士二年の研究発表会 ー福岡サテライトキャンパスよりー	

ご存知のように、大学院は大田原・東京・熱海・柳川・福岡のテレビ会議システムによる遠隔授業を導入しており、今回の研究発表会もこの遠隔システムを使って行われた。

発表した大学院生は二日間で総勢九八名、そのうち福岡サテライトキャンパスでは一九名が三会場に分かれて研究経過を報告し各遠隔教室間で活発な質疑応答が展開された。

大学院福岡サテライトは今年度より新キャンパスとなり、昨年と比べハード面においてかなり整備され充実している。研究報告会の形態は、サテライトの大学院生が増える中、試行錯誤され行われてきたが、新キャンパスはテレビ画面も広くなり画像・音声も整備されたことで、双方向での比較的スムーズな質疑応答が行われるようになり、大学院生それぞれの遠隔教室の多くの教員・学生からの質問、意見を聞く機会となった。

また、福岡サテライトキャンパスも四年目に入り、現在修士課程が三七名・博士課程が三名計四〇



遠隔システムを使って行われた発表会

名となり、寂しかった会場内も専任教員、学生で以前に比べると随分活気づいてきました。

今回は修士課程二年生の研究報告会でもあり、多くの院生は修士課程の最終段階に突入していく。院生の皆様には、この報告会での意見を参考にものつひと頑張りしていただきたい。

（大学院福岡サテライトキャンパス講師 丹羽 敦）

Date:June	6/12・13
第五回日本語聴覚学会開催	

六月十一日（土）・十三日（日）の二日間、神奈川県立県民ホール（横浜）にて第五回日本語聴覚士協会総会ならびに日本語聴覚学会が開催された。これまでは学会として理事会主催で開催していたが、学術的交流の範囲を協会員内に留めずに幅広い交流を目指し今回より「日本語聴覚学会」として開催することとなった。

また、今回の学会より「資質の向上に努めて、学習を生涯続けることは言語聴覚士の職能の一つである」という観点から生涯学習プログラムが開始された。今回は基礎講座として「臨床マネージメント」「臨床業務のあり方、進め方」の二講座、専門講座として「高齢者のリハビリテーションと言語聴覚療法」の一講座、計三講座が開催された。

二日間にわたる、今回の一〇〇を超える発表の中で本学の卒業生の姿を多く見

ることができた。彼らの学生時代の様子をふと思い出させる懐かしさとともに、言語聴覚士として現在研究や臨床において活躍している同じ専門職としての姿に頼もしさも感じた。卒業生達のこれから一層の活躍を期待するとともに自分も彼らに負けずに切磋琢磨して向上していかなければという気持ちを抱かせてくれた学会であった。

（言語聴覚学科助手 烏野幹夫）



藤田郁代言語聴覚学科長
（日本語聴覚士協会会長）

English Evening(英会話公開講座)	English Evenings
--------------------------	------------------

七月恒例の英会話公開講座、English Eveningsを次のとおり開催します。初心者・初級・中級・上級と四クラスを用意していますが、全クラスともアメリカ人と日本人の教員がチームで楽しく指導にあたります。どなたでも参加できますので、ぜひご参加ください。

今年のテーマは「Leisure Activities, (余暇の活動)」です。時間のあるときに自分は何をするのが好きなのか、先生にリードしてもらいながら、思う存分、英語で話せるように頑張ってみましょう。

【日程】

- 七月二十 日（火）
- 二十一日（水）
- 二十二日（木）
- 二十三日（金）

最初の三日間は授業、最終日は、学んだ英語を使用し、パーティー形式で楽しいひとときを過ごします。

【時間】

- 午後六時三〇分～八時〇〇分
- （最終日は八時三〇まで）

【場所】

国際医療福祉大学ＬＬ教室D棟一階（他

【定員】

- 初心者・初級・中級クラスは各二〇名、
- 上級は一〇名
- （語学教育センター教授 南井紀子）

言語聴覚センターミニセミナー開催

国際医療福祉大学クリニック言語聴覚センターでは、県北を中心とした関連機関（病院・福祉施設・学校・幼稚園・保育園など）に勤務する、さまざまな職種の方々とともに、学び交流する場として、今年度もミニセミナーを開催している。さまざまな分野の講師を招き、アットホームな雰囲気での研修は毎回好評をいただき、地域からの開催要望は常に高い。

今年度第一回は、五月十一日に言語聴覚学科助手、前新直志先生を講師に迎え、「幼児期の言葉のスムーズさー問題とその援助」と題して、幼児期の吃音についてご講演いただいた。講師の豊かな経験にもとづいた、分かりやすく、ユーモア溢れる話に九七名の参加者は耳を傾けた。

また、第二回は七月六日に日本医科大学付属病院耳鼻咽喉科頭頸部講師、三枝英人先生より「頭頸部腫瘍手術後の嚥下障害とそのリハビリテーション」と題してご講演いただいた。

介護職員、福祉職員、学生などの参加があり、専門的な内容に参加者が熱心に聞き入った。今後も第一火曜日を中心として開催する予定である。本学職員、学生の参加も可能。今後の予定は次の通り。

★ ★ ★

- 九月七日（火）
- 「子どもの構音障害とことばの教室の役割（仮題）」高橋明子先生（さいたま市立高砂小学校ことばの教室教諭）
- 十一月二日（火）
- 「声と健康（仮題）」渡辺雄介先生（東京専売病院耳鼻科医師）
- 平成十七年十一月一日（火）
- 「高齢者と言語障害（仮題）」黒羽真美先生（介護老人保健施設マロニエ苑言語聴覚士）
- 平成十七年三月一日（火）
- 「小児自閉症（仮題）」飯塚直美先生（よこはま発達クリニック言語聴覚士）

問合せ先
国際医療福祉大学クリニック
言語聴覚センター（金子・落合）
電話 〇二八七二一四一一三三
FAX 〇二八七二四一〇〇三
（言語聴覚センター言語聴覚士 金子弥栄子）



薬学部棟（平成17年2月完成予定）

国際医療福祉大学は、国際性豊かな 新時代の薬剤師の養成をめざして 平成17年4月、 栃木県大田原市の キャンパス内に 薬学部を 開設いたします。

新設する薬学部においては、これまでの薬学教育のあり方を見直し、充実したカリキュラム編成の下で、教育と実習の密接な連携を行い、医療福祉分野での科学技術の高度化や専門化に対応できる、質的・技術的に高いレベルを持った薬剤師の教育をめざしてまいります。

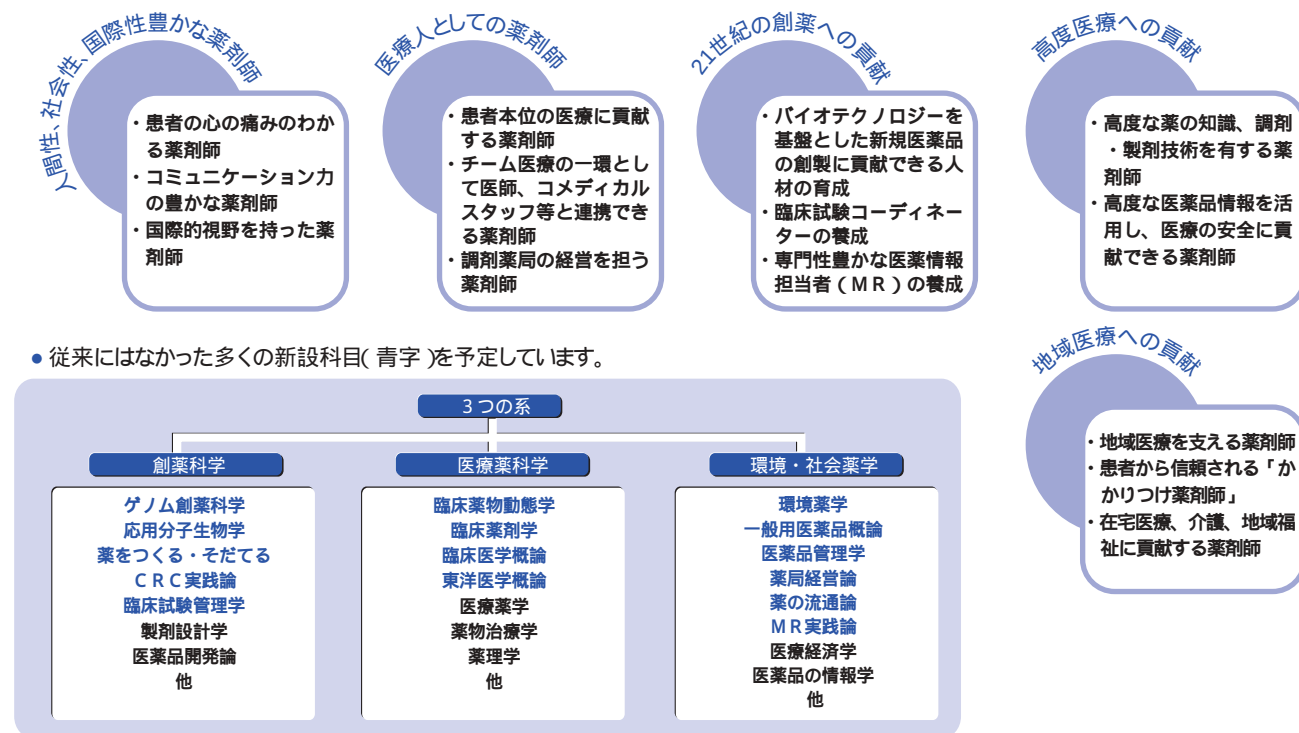
本学は、二学部八学科を擁する医療と福祉の総合大学として、全学科を同一のキャンパスに配置し、病気や障害を持つ人も健常な人も、お互いを認めあう「共に生きる社会」の実現を、建学以来の教育理念に掲げています。二十一世紀の健康、医療、福祉を担うことができ、広い視野を持つ人材を育成することこそ本学の夢であり目標です。

国際医療福祉大学学長 谷 修一



科学技術の高度化や
専門化に対応できる
質的・技術的に
高いレベルを持った
薬剤師の教育をめざして

- 時代が求める、新しいタイプの薬剤師の育成をめざします。



- 薬剤師国家資格取得に加え、卒業進路に合せた実践に役立つ科目の選択ができます。卒業後、実践に役立つ科目が在学中に学べます。
製薬企業の創薬・開発担当者 製薬企業のMR 調剤薬局の管理・経営者 病院薬剤師 治験コーディネーター 他

募集要項の配布は、11月下旬からになります。詳細は本学ホームページをご覧ください。

入試についてのお問い合わせは、入試センター入試課まで TEL 0287-24-3200 FAX 0287-24-3199 <http://www.iuhw.ac.jp> E-Mail : nyushi@iuhw.ac.jp

受験区分	新卒・既卒	受験者数（名）	合格者数（名）	不合格者数（名）	本学合格率（％）		全国平均合格率（％）	全国合格者数/受験者数
保健師	新卒者	123	104	19	84.6%	84.8%	92.3%	8,048/8,715
	既卒者	2	2	0	100.0%			
助産師	新卒者	6	6	0	100.0%	100.0%	96.2%	1,694/1,761
	既卒者	-	-	-	-			
看護師	新卒者	122	112	10	91.8%	91.9%	91.2%	44,874/49,204
	既卒者	1	1	0	100.0%			
理学療法士	新卒	101	101	0	100.0%	100.0%	97.9%	4,199/4,289
	既卒	-	-	-	-			
作業療法士	新卒	93	92	1	98.9%	97.9%	95.5%	3,313/3,469
	既卒	1	0	1	0.0%			
言語聴覚士	新卒	100	99	1	99.0%	99.0%	68.2%	1,130/1,658
	既卒	-	-	-	-			
診療放射線技師	新卒	114	103	11	90.4%	84.3%	73.9%	1,851/2,505
	既卒	13	4	9	30.8%			
社会福祉士	新卒	123	82	41	66.7%		28.5%	10,733/37,657
精神保健福祉士	新卒	22	22	0	100.0%		61.6%	3,589/5,831

平成
十五年
度

国際医療福祉大学国家試験合格率

平成 十五年 度 国際医療福祉大学決算報告

貸借対照表				消費収支計算書			
平成16年3月31日				本年度（自 平成15年4月1日 至 平成16年3月31日） 前年度（自 平成14年4月1日 至 平成15年3月31日）			
科目	本年度末	前年度末	増減	科目	本年度	前年度	増減
資産の部				消費収入の部			
固定資産	29,826,242	27,617,074	2,209,168	学生生徒等納付金	4,482,266	4,255,482	226,784
有形固定資産	27,233,466	25,131,645	2,101,821	手数料	159,981	166,099	6,118
土地	10,919,443	10,491,443	428,000	寄付金	540,933	1,683,904	1,142,971
建物	8,110,189	8,260,641	150,452	補助金	2,588,859	2,413,444	175,415
構築物	562,492	504,507	57,985	資産運用収入	42,534	11,331	31,203
教育研究用機器備品	3,800,070	3,773,070	27,000	事業収入（うち医療収入）	3,574,092 (3,498,047)	1,899,014 (1,776,611)	1,675,078 (1,721,436)
その他の機器備品	1,149,586	961,984	187,602	雑収入	100,319	69,977	30,342
図書	271,307	250,793	20,514	帰属収入合計	11,488,984	10,499,251	989,733
車両	14,929	19,207	4,278	基本金組入額	2,323,288	3,118,529	795,241
建設仮勘定	2,405,450	870,000	1,535,450	消費収入合計（a）	9,165,696	7,380,722	1,784,974
その他の固定資産	2,592,776	2,485,429	107,347	消費支出の部			
流動資産	7,242,268	6,167,005	1,075,263	人件費	4,217,265	3,546,900	670,365
現金預金	6,264,538	5,289,258	975,280	教育研究経費（うち医療経費）	2,845,978 (1,550,414)	1,978,140 (783,124)	867,838 (767,290)
貯蔵品	83,585	69,166	14,419	管理経費	1,737,605	1,246,648	490,957
未収入金	882,723	793,329	89,394	借入金等利息	63,320	56,367	6,953
仮払金	690	300	390	資産処分差額	155,682	16,640	139,042
その他流動資産	10,732	14,952	4,220	消費支出合計（b）	9,019,850	6,844,695	2,175,155
資産の部合計	37,068,510	33,784,079	3,284,431	消費収支差額（a)-(b)	145,846	536,027	390,181
負債の部							
固定負債	2,857,279	2,475,833	381,446				
流動負債	5,364,989	4,931,138	433,851				
負債の部合計	8,222,268	7,406,971	815,297				
基本金の部	27,798,080	25,474,792	2,323,288				
消費収支差額の部	1,048,162	902,316	145,846				
負債の部、基本金の部 及び 消費収支差額の部 合計	37,068,510	33,784,079	3,284,431				

(単位:千円)

(単位:千円)

消費収支計算書の医療収入および医療経費は、附属熱海病院および大学クリニックに係るものです。

Information Ohtawara

おおたわら総合在宅ケアセンター
グループホーム
おおたわらマロニエホーム

一周年を迎えて

おおたわらマロニエホーム主任 大森宮子

おおたわらマロニエホームは、昨年四月に痴呆性高齢者の方々が入居するグループホーム施設としてオープンいたしました。施設は二ユニット一八室あり、掘り炬燵や畳コーナーなど家庭的な雰囲気が漂う、明るく温かみのあるところで、一八名の入居者が共同で支援を受けながら、食事作りや清掃などの日常生活や野菜、植物を育てる園芸などの趣味娯楽まで一緒にに行いお互いが協力し、そして助け合って生活していく場です。

現在、入居されている方々は六七歳から九四歳までの一六名で、そのうち女性が二三名と女性の入居者が多い女所帯です。

一年が経って私たち職員が感じていることは、入居者同氏が溶け込んでお互いの存在を認め合い、日常生活での楽しみを共有し助け合って生活していく姿勢が現れてきたことです。このことは、グループホーム本来の目的とするものであり、このようなことが生じてきたことは私たち職員一同、非常に嬉しく思っています。

また、入居者と私たち職員と一緒に日常生活を共にして感じていることは、とにかく入居者から教えて頂くことが数多くあり、特に料理方法や調理の味付け、植物の育て



スタッフと一緒に昼食の支度をする入居者



方など日常生活のあらゆる場において、「生活の知恵」を発揮する人生の先輩から、逆に私たち職員が学び取って、私たちを成長させてくれることです。

一周年を迎え、四季折々の季節に応じた行事なども充実させ、入居者と共に私たち職員が明るく、そして楽しい雰囲気を作って入居者と家族との絆を大切に信頼される充実した施設運営を目指して、一層努力していきたいと思っています。

Information Sannoh

山王病院

山王病院産婦人科のこれから
― 出産 ― その時代のニーズに合わせて

都会の真ん中に静かにたたずむ旧病院であつた時代から、山王病院でのアットホームなお産については知る人ぞ知るところでありました。

時代が少子化へと急速に進む中、山王病院においては、年間分娩数が二〇〇一年に三五九件、二〇〇二年・四六二件、二〇〇三年・五三一件と漸増を続けています。二〇〇四年は六月まで、すでに去年の六月までの分娩数より約四〇件多い数となっておりますので、この増加傾向は続くものと予想されます。

＊ ＊ ＊

山王病院の産婦人科の特徴としては個人の尊重ということがあげられます。

一人ひとりをきちんと診察するということから、外来においては個室で完全予約制診察時間も一〇分から二〇分取ることがあり、最近では夫婦でおいでになる方も増えております。診療科の特性から女性医師を希望する患者様も多いので、現在は三人の常勤女性医師が対応しております。

入院されると個室でゆっくりすごしていただきます。出産においてはＬＤＲ室の用意がありますし、ご主人の立会いも多くなつてきております。予定で帝王切開にて分娩されることが決まっていっしょやる方も手術室でご主人と出産の瞬間を分かち合うことができます。また希望される方には硬膜外麻酔分娩（いわゆる無痛分娩）も行つ



病室Aタイプ

ております。何かいざというときには主治医がリーダーシップを取って患者様が安全に出産できるようにしていることは言うまでもありません。

産後はあらかじめ患者様からバースプランをいただくことも多いので、ご希望に沿って、母児同室または別室、両親さまと赤ちゃんのふれあい、直接母乳のタイミングなどを進めております。初めての育児におけるいろいろな指導は助産師からお母様方へ個別に指導をさせていただいていることも、個人を尊重してという当院の姿勢ということに他なりません。

女性の人生における一つの大きな仕事、生命をこの世に送り出す大切なひとときを、このように一人ひとりのご希望にあわせてより安全にそしてすばらしいものにするよう努めているのは、今に至るまで山王病院の変わらぬ姿勢であります。

（産婦人科上席部長 大柴葉子）

Information Nishinsuno 1

国際医療福祉病院

ドナルドがやって来た

五月十二日の看護の日、国際医療福祉病院ではマクドナルドの「ドナルドショー」が行われました。

会場の病院ロビーには、大勢の患者様が集まり、ドナルドの楽しい話や、手品に子供も大人も皆、楽しんでいました。

その後、小児病棟に入院している子供全員のところを訪問し、一人ひとりと握手したり、風船をプレゼントしたりと楽しい時間を過ごしました。子どもたちも突然の訪問に最初は驚いていましたが次第に笑顔になっていました。

Image: A group of children sitting on the floor, looking up at someone off-camera, likely Donald.

ドナルドの登場に大喜びの子どもたち

心臓カテーテル検査を開始

国際医療福祉病院では血管撮影とカテーテル法による治療を行う専門装置として

Information Nishinsuno 2

世界最新鋭のドイツ・シーメンス社製「AXIOM Artis dFC」(アクシオムアーティスディーエフシー)を導入し、心臓カテーテル検査を開始しました。循環器内科の大谷賢一院長を中心としたスタッフ陣は自治医科大学の協力もいただいたながら検査に取り組んでおります。

Image: A medical X-ray machine in a room.

ドイツ・シーメンス社製「AXIOM Artis dFC」

介護老人保健施設 マロニエ苑

介護老人保健施設ってどんな施設？

介護老人保健施設は、病院と家庭の中間に位置し、病気の治療は終わったが、まだ医師や看護師の医学的管理を必要とする高齢者を対象に、看護・介護のサービスとあわせて機能回復訓練を行うことで、家庭や社会へ一日

Image: A large, modern building with many windows, likely the Maroniya En facility.

マロニエ苑全景

Information Nishinsuno 3

特別養護老人ホーム 柘の実荘

介護老人福祉施設の現状

少子・高齢化の進展にともない、人口構成でも早い復帰をお手伝いする施設です。

また、施設は明るく家庭的な雰囲気を持ち、地域や家庭との結びつきをめざします。老健施設の四つの機能と役割

一 総合的なケアサービスを提供する施設

高齢者の心身の状態あるいは介護者や家庭の環境に合わせて、医療的サービスと福祉的サービスを総合的かつ一体的に提供する施設。

二 利用者の家庭復帰を目指す施設

リハビリテーション、看護・介護などのケアを必要とする高齢者に対して、医療的ケアと日常生活サービスを提供しながら、心身の自立を支援し、家庭復帰を実現する。

三 在宅ケアを支援する施設

高齢者が一日でも長く、在宅で自立した生活を送ることができるよう、訪問サービスや通所サービスならびに短期入所（ショートステイ）などの充実を図るとともに、地域におけるそのほか多くの社会資源の活用を図り、在宅介護の支援体制をつくる。

四 地域に開かれた施設

老健施設自らが、地域の高齢者ケアに関する社会資源として住民のニーズに応え教育や啓発活動、ボランティアの育成・受け入れなどを通じて、地域の高齢者ケアの向上に貢献することが大切です。

成の高齢化は急速に進み、要支援、要介護者を増加させています。核家族化が進み、家庭での介護力の低下もあり、一人暮らし高齢者世帯も増加しています。その中で、特別養護老人ホームへの入所待機者が多数存在しているのが現状です。

今後の方向性

介護の社会化を理念として、個人の自立した日常生活を支援するために、機能面での、見直しが行われています。その代表的なものがユニットケア（全室個室の小規模生活単位）で、個人の尊厳を尊重したタイプの新型施設であります。既存の施設においても、今後は、地域密着型で家庭的な雰囲気の中で暮らしを楽しむことができるような施設が求められています。

開設十周年を迎え

当荘は、今年の七月で開設十周年を迎えます。この間、介護保険制度定着に伴い、介護サービスの利用者も格段に増加しています。今後も高齢化の進展とともに、需要の増加は予想され、より円滑で質の高いサービスの提供が必要と考えます。高齢者が在宅で自立した生活を送ることができるよう、訪問介護、通所介護、短期入所の充実を図るとともに、在宅介護の体制を支援していきます。介護サービスに携わる人材の育成や、資質の向上を図り、地域の方々に安心して利用いただける施設を目指します。また、社会資源としての地域の方々のＴＺに応え、啓発活動、ボランティアの育成・受け入れなどを通じて、高齢者ケアの向上に貢献することが大切です。



勉強するなら、「医療福祉チャンネル774」

医療福祉チャンネル774では、衛星放送スカパーフェクTV! 774チャンネルで、医療・福祉・健康・介護に関する教育、教養、情報番組を放送!

東大CB(クリニカルバイオインフォマティクス) 専門講座

CBIとは、Clinical Bioinformatics — 個々人に最適な医療(テーラード医療)の実現のため遺伝と環境の相互作用を統計解析の手法を用いて検証する学問のことです。この番組では、最先端の臨床疫学、ゲノム科学、臨床情報工学等を詳しく紹介していきます。東京大学スタッフの他、各界著名講師をお招きし、放送いたします。



東京大学医学部臨床講堂。円内は、山崎力・東京大学大学院医学系研究科教授

黒岩祐治のメディカルリポート

日本の医療はハイレベルとされていますが、受け手である患者や家族が、必ずしもその医療に満足しているわけではない、というのもまた事実です。番組では、医療現場が抱える問題点にフォーカスをあて、患者中心の医療を実現するため何が必要なのか、フジテレビの黒岩祐治キャスター(国際医療福祉大学客員教授)が提言していきます。レギュラーコメンテーターは作家であり医師の和田秀樹氏(国際医療福祉大学教授)



黒岩祐治メインキャスター(中央)と和田秀樹氏
レギュラーコメンテーター、森まどかキャスター

●医療福祉チャンネルを見るには

「医療福祉チャンネル774」は衛星放送スカパーフェクTV!の774チャンネルでご視聴いただけます。

ご視聴には、スカパーフェクTV!専用アンテナ&チューナーをお部屋のテレビにつなぐだけ!

○視聴料・・・月額2,100円(税込)/法人契約:5,250円(税込)

(このほかに、スカパーフェクTV!加入料・・・2,940円(税込・初回のみ)・スカパーフェクTV!月額基本料・・・410円(税込)がかかります。)

○IUHW学生、マロニエ会会員、教育後援会会員の皆様は、特別視聴の制度があります。下記までお問合せ下さい。

●テキストのお申し込み・視聴に関するお問い合わせは

フリーダイヤル 0120-870-774(お客さま係) Eメール info@iryoufukushi.com ホームページ www.iryoufukushi.com

IUHW 国際医療福祉大学出版会新刊書のご案内

試験に必要な知識が、短期間で、効率的に、確実に身につく

「必携 ケアマネジャー試験対策2004」



定価: 4,500円
(税込・送料サービス)

試験対策「必携」シリーズの第2段
8月初旬発売

「必携 社会福祉士国家試験対策」



定価: 4,500円
(税込・送料サービス)

これから社会福祉学を学ぼうとする
すべての初学者のための入門書

「入門・社会福祉学」



定価: 本体2,940円
(本体2,800円+税5%)

医療・経営管理職育成のための
バイブル。待望の四訂版!

「四訂 医療・福祉経営管理入門」



定価: 本体3,990円
(本体3,800円+税5%)

ご注文は、国際医療福祉大学出版会まで

〒107-0062 東京都港区南青山1-24-1 アミティ乃木坂3階 電話03-5414-6098 FAX03-5414-6096

E-mail: press@iuhw.ac.jp http://press.iuhw.ac.jp

IUHW 短信

IUHW Note

●7月16日(金)株式会社医療福祉経営審査機構主催の「医療経営セミナー」が、ホテルオークラ曙の間で開催された。今回のテーマは、「医療機関の資金調達」。下田智久氏(独立行政法人福祉医療機構理事)の「医療機関の資金調達の現況」と題した基調講演に続き、開原成允大学院院長(株式会社医療福祉経営審査機構代表取締役)による「医療機関を取り巻く経営環境と医療福祉経営審査機構」、内田泰司氏(株式会社東京都民銀行常務執行役員)による「銀行からみた医療機関の資金調達」の講演が行われた。シンポジウムでは、高木邦格理事長がモデレータを務め、下田智久氏(独立行政法人福祉医療機構理事)、安藤高朗氏(医療法人社団永生会永生病院理事長)、瀬戸山元一氏(高知県高知市病院組合理事)、内田泰司氏(株式会社東京都民銀行常務執行役員)、福永肇氏(国際医療福祉大学助教授)が、シンポジストとして意見を述べた。

表紙・特集写真: 加藤文哉
デザイン: アイ・デフト

発行: 国際医療福祉大学
編集部
【東京】
〒107-0062
東京都港区南青山1-24-1
アミティ乃木坂三階
電話 〇三五四一四六〇九八
【大田区】
〒324-8501
栃木県大田原市北金丸六〇〇一
国際医療福祉大学内
電話 〇二八七二四三〇〇〇

